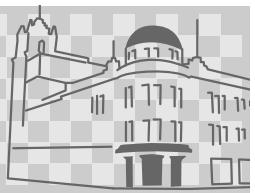


特集

はこまち対談

Part
31

「手づくり」と「人」を大切にしていきたい。

今回は、「江差の持つ宝物」を活かしたまちづくりをしている室谷元男さんにお話をお聞きしました。

むろ ゃ
室谷 とも お
元男さん

Tomoo Muroya

◆プロフィール

1950年江差町生まれ。

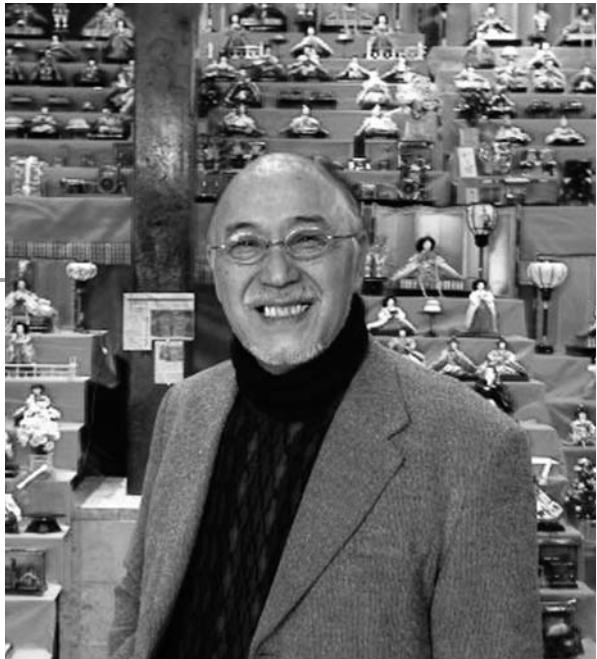
1968年江差高校を卒業後塗料メーカーにて研修する。

1971年江差に戻り家業を継ぐ。

1992年より江差町歴まち商店街組合の理事長に就任。

2015年2月に理事長を退任して監事に就任。

歴史を生かした町づくりをベースに、商店街や地域活動を実践中。



【聞き手】地域交流まちづくりセンター センター長
丸藤 競(まるふじきそお)

室 谷 元 男
丸 藤 競

室谷：今いにしえ街道と言われている下町に古い建物が残っているんでどう活かすか？その家に伝わっている古いものや、どんな人がいるんだろうかということをみんなで話したんです。すると、古ぼけたものの中に物語があつたり歴史がありすぎるといふことで、これはもしかしたら大事なものじゃないのかということが分かつて來たんです。

室谷：商店街のみなさんの意識は変わりましたか？

室谷：古い建物や空き店舗を活かしたり、開陽丸をテーマにした江差幕末物語を野外劇でやったりして、自分達の町の歴史

丸 藤 競

最初は何をしたんですか？

室谷：松村隆さんが主催している雑誌『江さし草』の「歴まちを歩く」という「一軒一軒のお宅に行ってお話を聞くんですけど、それが凄く面白い。それで、100人の語り部の町というのができました。語りをテーマに楽しくやっていこうかなあと。

室谷：つながっていきますね。

室谷：人だと思うんです。波長が合う人と行き合つことが凄く多いですね。花嫁行列するから来ませんか？

室谷：私もつい乗せられて…（笑）でも、來ると面白つしょ（笑）

室谷：私もついつながらが一番大事で

を体現して表現しました。やつてしてうちに、町並みを整えて観光客をたくさん呼ぶよりも、ここに住んでいる人たちが楽しむ暮らせ、外から来る人たちと楽しく交流できればいいなというのがだんだん分かってきたんです。一気に200人が来るより、5人でもいいから何回か来てきて気持ちが通じた方が感動が大きいです。

室谷：彦根の夢京橋の街路事業を見てきたんですが、漆喰をやつて瓦あげてとちゃんとやつてるんです。江差はそれができませんでした。歴史の染み込み度合いが違うと感じました。江差も50年後には一つつの建物を作りかえる時が来るんですね。その時どうするか、やはり染み込み具合だと思いま



花嫁行列

すね。人数だと金額だとかの数字だけで「喜一憂するより、来た人と交流できて楽しかった」と言う方がよっぽど豊かな感じないかと思うんですよ。いいものが積み重なつて、想いが染み込んでいくとまちが豊かになって、自分も豊かになつてしきるんじゃないかなあ。

室谷：いにしへ街道の真ん中にある姥神大神宮は、おりんさんというおばあさんの伝説がもとになりますねんだけ、飢饉で端いでごふとパンをとつて飢えをしのぎなさいと授かるんです。でも、小さな魚は逃がすようにしなさうなうし、漁で大儲けするのではなく代々、持続可能なことをしていきなさいという教えなんです。あまり背伸びしないでやつていけばいいのかなって思つてます。

室谷：仲間が来たりたりして泊まり、懇親会やればいいなとか。あとは、空地空き店舗があるので、食べ物とかの店づくりをする若い人たちがいればいいなと思います。パン屋さんが5年前に来たんだけど、そのことではいぶん変わったと思うんですよね。だから、一緒にまたづくりをやりながら商売できていくと、次の世代にいいのかなと思ひます。

室谷：それがダメこれがダメって言いうよりも、あれがいい、これがいい、こんないい人が居たって言う方が楽しいですね。面白じ人とちゃんと連携していくとね、だんだんと広がりができる。

丸藤：それに、嬉しいユニークな人たちが集まつてますね。

室谷：それが一番ですよ。人がいなきやダメですよ。全てが人だと言つてもいいじゃないよな。楽しいですよ。

室谷：年齢層から立場まで幅広い人たちが、やれる」と出っ合つてる感じがします。

室谷：本当に広くなつたと思いますね。全国の半島の人たちとも

す。それは自分達に対する評価だと思つてます。楽しく愛着を感じられるようなまちづくりをしていかなくちゃダメだなあとは思つてゐんですけど。

室谷：これから夢は、わつと田舎にじむるのにね。あまり大きいことしないでね。シャイですよね。頭でつかちじやなくて、体で表現していくべきなに泥臭くてもいいから。見方をちょっと変えただけで

丸藤：函館の人へのアドバイスをお仕事を抜きにして楽しむ関係が感じられるようなまちづくりをしていかなくちゃダメだなあとは思つてゐるか。

室谷：わつと田舎にじむるのにね。あなたは思つてゐるんですけど。



江差・北前のひな語り～歴まちのおひなさん～

室谷：時間がかかりますよ。かけなきやダメですよ。じつくり染み込んでいくことが大事だと思うんですよ。